



海のたより



スタートシーン
ホーネット好位置をキープ
スタート前のH艇
帽子をそろえてガッツポーズ



第50回パールレース
MCCからは
ホーネット(クラスB3位)
ダンシングビーンズ
ベベ、影虎、ルートリス
参加47艇中5艇が参加
それぞれ健闘しました。

目次		行事予定
表紙	パールレース、ホーネット健闘	8月23日 白谷ヨットクラブ ファミリーレース&バーベQ
P 2	三河湾周航レース、ダンシングB優勝	8月30日 理事長杯、MCC8月ポイントレース 体験乗船会
P 3	7月スモールレース、バイキング優勝	9月20日 9月スモールクルーザーレース
P 4	海の日、体験乗船、スナメリに逢えた	9月27日 MCC佐久島レース(早朝)
P 5,6	パールレース、ホーネット	10月11日 デニスコナーカップレース
P 7,8	新島クルーズ、ホーネット	
P 9	マリンカップヨットレース速報、成績表	
P 10	会員艇の紹介「バンディーナ」	

7月逆回りナイトレース (S 豊橋 生田 一色 野島 豊橋 F)

By DB M.A

いつだったか？メルボルン大阪レースに出た人が話してくれた数日間に及ぶカームなんてのは経験した事は無いが、それでも毎年、何回かは暫くすると、何処から吹いてくる程度のやつには必ず遭遇するものだ。じたばたして、毎回、同じ事を繰り返してしまっただけで逃れる術を未だに知らずにいるのは悔しい限りだ。さて、今日のDBはコミッティーを仰せ付かって10分遅れのスタート。赤堤防の先端からフラッシュライトまでのスタートラインは見晴らしの良さも手伝って、思いの外クリアで艇の位置も航海灯の方が遥かに確認しやすい。

時間になるとMCC最大艇とその向こう側にいた艇のジャストスタートを確認したので、急いで愛艇に乗り込み、先行する艇団を追いかける事になった。スタート時は微風だったが、さすがに10分遅れでは皆、遥か彼方手へ行ってしまった気がしていた。一年を通じて滅多に無い事だが、この時はDBに追い風(実際には横!)が吹いて豊橋潮流ブイまでにMCC軍団全てに追い付いてしまった。

しかし、前述した様なカームが今日もまた証拠にも無くやって来て、既にこの辺には風は無く、静まり返った闇の中に聞き覚えのある声が静かに漂っていた。これが無けりゃ追い付ける訳無いか？時折ごそごそする周りの船の気配が気にかかる。そして、通常のレースではあり得ない程、ばらばらの方向を向いた艇団に理屈では説明できない僅かな風が入りだす。これは運としか言いようが無い。たまたま一番高い処にいたDBは、その僅かな風をいち早く掴んで、なんと！豊橋をトップ回航出来てしまった。

そして、本日のお楽しみ！「逆回りナイト」。ここ数年、ナイトと言えば、そこからは野島を目指して一直線に向かうコース。東寄りの風が吹けば渥美特有の刺激臭の中をひたすら中配を目指してデットヒートを繰り返すのが常だった。また、数年前には突然湧き出した黒い雷雲に突風と稲光のお出迎え。吸い込まれるように雲の中に入って各艇サバイバルになったのは記憶にそう遠くない。私はこの時、生まれて初めて頭上でとぐるを巻く稲妻を見た事を良く覚えている。そんな思い出深いコースも今日はJSAFでは経験のある生田を目指す逆回りコースになっている。

スピニングで少々振りながら佐久島の中央狙いのコースを進むと、Hはもっと振って沖出ししている。やはりスピードの差は歴然としている。ジャイブの後、抜かれてしまった。また、結構離れたと思われたアルミスやセレスティーヌは徐々にその差を詰めて来る。う〜っ！何も出来ずにじりじりする時間が過ぎてゆく。Hは岸側へどんどん振って行く。我々もそろそろ何処かでジャイブしなければいけないのだが・・・。佐久島までは、まだ距離があるので、もう少し行きたいと思う。

しかし、遂に梶島を過ぎた所で後続艇に追い付かれてしまい、生田まで一緒に走る事になってしまった。順番に生田の回航を始めると、一色にはこのままで行けるのか？と疑問が、ぐい！と上って針路を向けると割と強い風でヒールもきつく、スピードも出る。スピニングが気になるころだが、今さらスピニングを下ろす事は考えられない。そして、次の事を考えると、この短いレグでジブを準備した方が良いのでは？と不安が頭を過るが一色はどんどん近付いて来る。

ぐっと迫って来たアルミスはさすがだ！ジブを既に上げている。次の角石は一色を回航すれば落とすだけ？大丈夫！このままで行こうと考えた。そして回航。ん！コースは落ちてチッタナポリさえも維持できない。あ〜ゴメン！仕方なくスピニングダウン！アルミスを見ると5艇身は高さを失った気がする。まあ大勢に影響ないか？と強がって見せたが心中は穏やかでは無い。それにしても角石は明るい。明るいのが故に吸い寄せられるように向かって行く！危ないから離して！幸いな事に今日は船が少ない。慎重に角石をやり過ごす間にHは遥か先に行ってしまった。

遠く霞むHの針路はもちろん松島を通過するコースでシーズンの初めの頃には面倒な難所だ。しかし、今のシーズンには殆ど網が入っている事は無い。不思議な事だが、この辺りから後続艇が付いて来なくなった。確かに、角石には近かったけど、何故？離れて行くのか理由が分からなかった。

毎回、暗い中で松島通過は反対側からであっても緊張するものだ。「どっち側に近い方がいい？」松島の浅瀬は闇の中では不気味で、どうしても篠島に近い方を通る事になる。島と島の間から吹いて来る風の強弱に注意しながら、眼前に大きくなって来た野島をしっかり捉えた。Hには近づいたのか？野島回航を終えると最短コースを進んだせいなのか？Hとの距離が高さになって横に並んだ。



MCC海のたより8月号MCC海のたより8月号MCC海のたより8月号

風向きが安定しているので、ヘルムを交代してパール要員が練習すると言い出した。ようし！励ます意味でピシオでこを叩いて活を入れる。リフトが来れば「上れ！上れ！」ヘッダーが入れば「我慢じゃ！」とにかくHの位置まで上るんじゃ！と鼓舞する。風は順風になって、そんな簡単では無いのは良く分かっているが、実に楽しい！「こらっ！落ちてるぞ！」彼は真剣だ！暫しの間、コックピットはヘルムスマン育成のしごき道場となった。

そうするうちに再び豊橋が近くなって後は上って回航するだけ。結局、三谷までHに追い付く事は出来なかった。後片付けを終わってパーティーに。ひとつ風呂浴びて降りてくると嬉しい結果が待っていた。仲間が頻りに言っている「謙虚に！」しかし、私は「今日の10分遅れは関係なかった」・・・言ってしまった。皆の白い視線が矢の様に刺さるが、気分は最高！帰って来た甲斐があった。みなさん！本当にありがとうございました。

7月スモールクルーザーレース

海の日を翌日に控えて、東に少し離れたところではOPの東日本大会が、東隣では高校の練習レースが、西では身障者を招待してのひと・ひと・人ヨットレースが行われていて、賑やかな三河湾だった。

レースに集合したのは”Honey Bee”、”あや”に我が”Viking”の3艘で、Hopeが運営をやってくれた。集合時には風は夏らしく少し東よりの南からの穏やかな風が吹いていたが、どんより曇った空で、予報では前線が近づいてくるとのことだった。参加予定の3艇が時間通り集合し、雨にならないうちにと早めて、10:30スタートとなった。選択されたコースは帆走区域南端の立標を反時計周りに廻ってくる往復約8kmのソーセージコースだった。このコースを聞いたとき、風速に比べて長いコースだと思いながら出港した。

スタートラインは蒲郡ヨットハーバーと三谷漁港の両赤灯台の間で、三谷側がやや有利と思われたが、諸般の事情でVikingは蒲郡YH側からのスタートになった。スタート直後、ホーンがなって、Honey Beeが少しPMSで、ラインを入り直していた。このスタートラインのときは蒲郡ハーバーの南防波堤の延長線をスタートラインと思いつちだが、実際はこの防波堤の南面がかなり大きな角度で見えていてもラインを出していない。

あやとHoney Beeはスタート後、西に向け進めていったが、Vikingは蒲郡側から東寄りに進んで、10分程で高校生のレース海面に入ったので、高校生に手を振ってバイバイ。さらに20分程走り、他の2艇のコースの手前でスターボードタックに戻した。この時点では他の2艇より少し前にいたが、レーティングを考えると勝てそうになかった。立標を右に見て少し行き過ぎてタックし、余裕を持って立標に向かった。

スタートから40分程で立標を回航し、スピンを揚げた。この時点では5~6m/sの良い風になっていて、スピンのアフターガイにかなりの張力が掛かっていた。6ノット超で気持ちよく走ったが、フィニッシュの数分前



左はリコールして戻るハニービー、中央のバイキングと右がアヤ

に風が落ち、Vikingはどうやらラインを横切ったが、少し後にいた2艇はその場で数分をロスし、次の風でフィニッシュしていた。

結果は、修正でVikingは3300秒、あやが3309秒、僅差で勝てた、フィニッシュ直前の風の振れが明暗を分けたようだ、Honey BeeのPMS解消がなかったらこちらにも負けたかも？先月も負けたし・・・。

スタート前、当日の風では立標往復は長時間のレースになりそうだと思ったが、途中から風も上がり、約8kmを60分程度で走り終えることが出来て、爽快なレースだった。



蒲郡荘でのアフターパーティー

Viking 本間

海の日記念 三河湾体験乗船

7月19日 MCCからも多数の協力を得て ラグナマリーナでヨット体験乗船会を実施しました。

17日に海陽学園内で新型インフルエンザ感染者が発生、体験予定者が急遽大幅減員のハプニングもありましたが、予定どおり体験乗船はできました。急に協力のキャンセルをお願いした艇には大変ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。



体験乗船終了後にアンケートをいただき、その中で、どんなところが楽しかったですかの答えでは

ヨットで風をきって進むところ、初ヨット操船、スナメリに会えたこと
日常では感じ得ない風と浮遊感が素敵でした、船の操縦ができた
乗船中色々な話を聞いたことが楽しかった
ただ乗っているだけでなく操作とかも教えていただき子供たちが楽しんでよかったです



スナメリがズットついて来た、操縦させてもらった、同乗した人が良かった
船の進み方、乗り心地など体験できた、
船の下の部屋が面白かった
海からのラグーナや三河の景色がすばらしかった
乗員のおしゃべりも楽しかった、海の素晴らしさを知りました
スナメリ、初めてのヨット体験、ヨットから見た蒲郡、クルーの方が親切でした
スナメリに会えたこと、風で気持ちよく前に進むこと

操船を教えていただいたこと、スナメリ発見！！眠くなるころ、自分で操舵させてもらった

スナメリが見えたり、おじさんたちが色々な話を教えてくれたこと

酔うことを心配したが全く心配なく気持ちよかった、スナメリが見れた、眠くなるほど気持ちよかった
海から別の角度で陸地を見る、空の広さを感じられること

スナメリが少しだけ見れて良かった、ヨットの向きを変えるときに面白かった

波も高くなく、本当にのんびりできました、素敵な人たちと一緒に乗れて楽しく快適でした

涼しかった、ヨットに乗れたこと、スナメリが見えたこと、

風と青空、風を受けて走るのが気持ちよかった、スナメリがすぐ近くで見れてうれしかった

スナメリがよって来て良く見えた、水に足をつけたことが楽しかった

スナメリには会えなかったけどいい景色で係りの人もやさしくしてくれた

ヨットの近くにスナメリが来たこと、

初めての船、ドキドキしました、

スナメリに会えた、海でゆっくりできた

初めてのヨット、全部楽しかった、

息子の誕生日だった、最高の思い出でした

運転ができること、ヨットの難しさ、優雅さが味わえた、

風をきって走ったこと、一番前に行って楽しかった、

ヨットの操縦を見ているのが楽しかった

実際に帆を上げ下げする体験ができた、スナメリがヨットの後を追いかけてきて沢山見れ感激しました



など沢山の感激の言葉がありました。なんと言ってもスナメリでした。

MCC海のたより8月号MCC海のたより8月号MCC海のたより8月号

パールレースに参戦して

ホーネット 正木

昨年、一昨年と鹿児島カップに挑戦していたホーネットチームは夏の風物詩、パールレースに3年ぶりに出場、第50回の記念大会に参加した。

今回のメンバーは、中村、高橋、十八日、三戸、佐々木、多田、正木に加え、高雄、石川の2名の強力な助手を得て9名という十分な布陣である。天候は梅雨が明けず当日朝の予報も雨。中村艇長からは、艇の軽量化のため長靴の持ち込みは禁止、カップは軽いものを、荷物も最小限にという非情な伝令が前日までになされていた。20日の50周年記念パーティーでは優勝宣言があったとか、なかったとか(私は欠席)なぜか相当気合が入っている。ただ、ビールだけは食事ごとに1本ずつというホーネットならではの配慮がある。

雨の予報とは違い曇りの中、VOCを出港。風が弱く、果たして目標とする30時間で無事江ノ島に到着できるのだろうかと少し心配である。私は昨年腰を痛め、まだ完治していないが、風も弱く、とりあえずヘルムを任せ、とにかくスタートだけはきっちり決めようと気を引き締める。

第一目標の神の島はクローズかややおとし目のコースと確認、どこから出るのか迷う中、ラインを上から流せとの指示。関東のエスメラルダ等の動きに注視しながら好スタート・・・と思いきやゼネリコの無線が流れている、残念。2回目は上有利となり上に移動、上の集団に入り込まないようにとその前、下にうまく位置取り、2回目もこれもまた好位置でスタート。エスメラルダやマウピティ等と並んで(最初だけだが)神の島を目指す。



風がシフト、2艇程がタックを返すのに合わせてタック、ポートに返すと良い風を掴める。ロングレースということもあり角度はともかく、少しおとし目、スピード重視で走らせる。風はさらにシフトし神の島まで上れるように、神の島は岩礁を確認し通過できた。次の目標は真東、新島の西を目指す、東の風の中、南へ徐々に振れて行くと予測し、まずはポートタックのまま冲出しする。

その内にタックしてスターボに返す艇も出始め、我々も手堅くラムラインに乗せておくためタックを入れる。このタックをする前はカイトが下手先行、直ぐ上側にはパラフレニアンが何故か遅れている、そして同一クラスのクレセント(SEAM33)が同位置に、これらはさらにポートで南にのぼして行った。この後、思いの外早くに風が南っ気に振れてきて、スターボで目標コースに乗せれるようになってしまう。このためポートを伸ばした艇に差をつけられ、18時のロールコールではクレセントに4マイルも離されてしまった。

日も暮れると、星も殆ど見えない暗闇を、わずかにぼんやりと見える先行艇らしき明かりを目標物にコース維持に専念するが目標が定めにくく、デジタルコンパスをたよるとどうしても舵切りが後手になり蛇行してしまうし・・・三河湾と違ううねりの中、弱い風、フリーコースでの舵取が難しい。

御前崎を通過、駿河湾の沖でコースを変更、利島を目指すとは何とかスピニアップできる、よし、スピニアップ、オールハズで走らせる。その後、夜間も風がおちることなく目標時間に対して順調に走り、朝方には石廊崎沖を通過。前方に見えたヨットは朝になると少しずつ先行、遠すぎて艇名は確認できない。何となくカイトではないかと思うのだが?朝食にはカップラーメンが出て、冷えた体に暖かさが染み渡る、美味しい。ちなみに1日目の食事は、おにぎりとパン、お茶またはビールであった。

その内に新島が、その北の鵜渡根島(新島・利島間)が、そして利島が、という順に島影が確認できるようになる。(記録では利島真南通過は8:49、先行のクレセントは8:27、カイトが8:36)そういえば、この利島手前のスピランで、白の軽い方のスピンをあげていてバーストさせてしまう。風が上がる中、早めに交換しなかったことが悔やまれる。



利島をバックにスピンラン
天気よし、風よし

利島を回航するとすぐにジャイブ。利島の吹き下ろしか？というような強い風を受けることができ、コース的にもこのジャイブは正解。その後、南風が強まり20ノットオーバー、ランニングで江ノ島を目指す。波やうねりもあり、スピンでは制御しづらくなる程。私は腰痛もあり、高雄さんに舵を取ってもらおうが、スピンランはきつく大島を越したところでスピンをついにダウン、メインのみで暫く・・・やはりこれでは勝てない。

中村さんに交代し中間リグのスピンをアップ、パイザリーで挑戦するが、波長の短いうねりに結構神経を使い、長時間はきつい、またもダウン。先行艇もスピンを上げ

たり下ろしたりだが、最後にもうひと踏ん張りということでホーネットも再度スピンアップ、スピードアップしフィニッシュを目指し快走。

カイトに続き、午後2時39分、江ノ島を左手に見ながら、自衛艦を右手にフィニッシュ。江ノ島ポイントに着くと、隣にはクレセント、聞けば30分程前に入ったとのこと。また、同クラスのオレオス(X35)がそれよりももっと早く入っていたことが分かり残念。

結果は、クラス3位、総合6位、中村さんの目標、クラス優勝は達成できなかったが、大きなミスという程のこともなく、天気もカラッと晴れこそしなかったが、雨にも降られず、風にも会わずで、総じてまずまずというところではなかろうか。

早くフィニッシュできたため、江ノ島観光、弁天様をお参りし、大ジョッキに名物の生シラス料理で夕食をとる。そして仮眠をとって22時過ぎには下田を目指し江ノ島を出港。

向かい風の中を機帆走、初島沖から稲取沖に沿岸航法、爪木崎沖からは濃霧、GPSたよりに下田へは8時過ぎに着岸、午前中からやっている銭湯、天然温泉へ入り何とも言えぬ気持ちの良さ、である。来年もまたチャレンジするのだろうか・・・



大島通過
快調のスピンラン



若瑞、スタート前



坂谷会長の挨拶



スタートラインに向かう影虎



ベベ(VOCにて)



ルートリス(VOCにて)



ダンシングB(江ノ島にて)

ホーネット回航 (伊豆諸島新島クルーズ) 記

2009 7/26.27.28

石原和久

ホーネットのパールレースは、総合六位、クラス三位獲得、皆さんの健闘を祝したい。
中村さん以外のメンバーは江ノ島、下田にて下船し、入れ替わりで石原が乗船し回航する計画である。
皆と別れた後、下田は久しぶりでもあり一人で付近の散策、史跡めぐりをする。
展望台から港を見下ろすと、ペリーの艦隊が錨をおろしている様が思い描かれ、開国当時の歴史を偲ぶ
ことができた。下田はやはり天然の良港だ。それにしても最初に下田に入港したイギリスの軍艦の艦長
は流石である。



下田港を展望



ペリー艦隊上陸碑

昼寝から目が覚めた中村さんと今後の予定を検討・・・明日からの天候も曇り、雨・・・
どうしようか??

まずは、燃料の調達と買い物をすませ、夕食はおいしい魚を食べに行く。

天候の良いうちに少しでも早く帰ろうと決し、21時頃であったろうか舳いをといた。

港口にさしかかると一変して周りは濃霧、すぐ近くの灯台の灯も見えず前方は真っ白だ。

しかし頭上を見ると星空である。

無理をすることは無い、すぐさま引き返すが霧でぐっしょりと濡れてしまった。翌朝を待つこと
にし寝るが蒸し暑くなかなか寝付けない。中村さんは疲れもあってか熟睡のようだ。

朝、起きると海面には霧が少し残るが天気は良さそうだ・・・

折角だから蒲郡直行の手はない、新島へ寄って行こうと予定変更!

下田から新島まで22マイル、4時間程度だ・・・新島で半日遊んで夕方出航すれば蒲郡へは翌日の明
るいうちに着く・・・何か急にわくわくとして楽しくなってきた。

朝食もとらずに6時30分に出航、天気はいいが、夏空と梅雨空が同居している感じだ、とりあえず雨
の心配はなさそうだ。少し残っていた霧も晴れ正面に新島をはじめ利島、式根島、神津島、その奥にう
っすらと三宅島も見えてきた。10時30分予定通り新島港に着岸。

驚いたことに「プレジャー船専用水域 地元漁船係留禁止」の看板がありプレジャーボート専用の岸壁
が用意されていた。こんな港もあるのだ!

中村さんはレンタサイクルで精力的に島内観光、いつも元気がいい! 私は、下田でもそうだが、どう
も高いところへ登って景色を見下ろすのが好きである。ここでも四百段の階段を登って大三王子神社へ、
海の神様である、航海の安全を祈願する。境内からは式根島方向が望めるだけで少々残念。

MCC海のたよみ8月号MCC海のたよみ8月号MCC海のたよみ8月号



新島が見えてきた



露天風呂から右奥に式根島



神殿のような露天風呂

半日遊んで、夕方6時30分、今夜の天気を気にしながらも出航、当然雨に降られるのを覚悟のオーバーナイトである。真っ赤な夕焼けとまではいかないがきれいな日没、星も、天の川も見えゴキゲンなナイトクルーズである。8時から2時間おきのワッチで寝たり、ワッチしたりだ、最初のワッチ明けてコックピットの片隅で横になって間もなく、雨粒にたたかれ寝付けない。

ふと、一昨年の屋久島から奄美へ向けてのオーバーナイトの悪夢を思い出していたが、大した天気の崩れも無く、海も穏やかで視界もよい、ただ漁船、本船の動きだけはしっかりとワッチした。

ふと、GPSをみると進路から90度程度はずれている、オートヘルムの調子が悪い、オートを外ししばらく舵を握る。

御前崎沖、浜名湖沖を通過し明るくなりだしたころ、うっすらと神島、伊良湖岬が視認できた。

時折、雨に降られながらも12時過ぎには伊良湖岬を通過、一路蒲郡をめざし3時過ぎには海陽YHへ無事到着した。



(新島を出航して間もなく日没を迎える)

私にとっては初めての海域でもあり、緊張感のある楽しいクルージングでした。

「楽しきかな人生」 中村さん 素晴らしいヨットライフをありがとう！

白谷YC ファミリーレース&バーベキュー ご案内

8月23日(日)

9時半艇長会議 10時半レーススタート 12時半バーベキュースタート
男性 2000円(予定) 女性、中学生以下は無料

皆さん参加しませんか

MCC海のたよみ8月号MCC海のたよみ8月号MCC海のたよみ8月号

第11回蒲郡マリンカップヨットレース成績表

日時 2009年8月2日(日)
 コース 三谷(スタート) - 小島(東) - 帆走区域灯標 - 小島(東) - 三谷(フィニッシュ)

クラス C1 (青)		Start時刻(時:分:秒) 11 0 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	C1	青総合	C1
リトルウィンディー	375	C1	YAM21R&C	770.0	.8280	11	43	29	2609	2160	1	3	1	1	8
ホープ	66	C1	YAM21C	780.0	.8170	11	44	28	2668	2180	4	7	2	2	10
メデューサ	3158	C1	YAM23-E	755.0	.8440	11	44	25	2665	2249	3	6	3	4	12
すなめり		C1	FAR727	740.0	.8610	11	43	38	2618	2254	2	4	4	5	13
ハニビー	4418	C1	YAM23	755.0	.8440	11	46	12	2772	2340	5	8	5	6	17

クラス C2 (青)		Start時刻(時:分:秒) 11 0 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	C2	青総合	C2
すみれ	54	C2	YAM25ML	750.0	.8500	11	43	41	2621	2228	3	5	1	3	11
アケアマリ	1006	C2	YAM31SLT	690.0	.9240	11	42	16	2536	2343	1	1	2	7	18
百恵	2763	C2	YAM31EX	700.0	.9100	11	43	24	2604	2370	2	2	3	8	19

クラス C3 (緑)		Start時刻(時:分:秒) 11 10 0												
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位	
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	C3	緑総合
オリブ	246	C3	YAM33	710.0	.8970				DNS					
アングラー	3612	C3	YOK28	700.0	.9100				DNS					
ブアマナ	3156	C3	NAK295	700.0	.9100				DNS			1	(じゃんけん)	
バンドーラ	101	C3	Ventdefete	700.0	.9100				DNS					

クラス R1 (緑)		Start時刻(時:分:秒) 11 10 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	R1	緑総合	R1
ブーメラン	4825	R1	J/24	700.0	.9100	11	49	15	2355	2143	1	1	1	4	4
ハッ	4825	R1	PION9 F&F	700.0	.9100	11	49	22	2362	2149	2	2	2	5	5
アケティブ	3605	R1	YAM30CII	700.0	.9100	11	49	49	2389	2174	3	3	3	8	9
ハブイー	123	R1	YAM30S2	685.0	.9300	11	50	27	2427	2257	4	4	4	9	14

クラス R2 (赤)		Start時刻(時:分:秒) 11 20 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	R2	赤総合	R2
スーパークエーブ	5550	R2	SLOT31	645.0	.9880	11	54	31	2071	2046	1	2	1	1	1
うらなみ	5075	R2	J/92	645.0	.9880	11	56	25	2185	2159	2	5	2	7	7
ルードリス	4932	R2	SLOT31	645.0	.9880	11	59	25	2365	2337	3	7	3	11	16
スーパークウ	4750	R2	SWING34	640.0	.9960				DNS						

クラス R3 (赤)		Start時刻(時:分:秒) 11 20 0													
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間	修正時間	着順		順位		
				TA	MRC	時	分	秒			秒	秒	R3	赤総合	R3
フロレス	6155	R3	First36.7	620.0	1.0280	11	53	32	2012	2068	1	1	1	2	2
ケニツ	5650	R3	J/V9.6	625.0	1.0200	11	54	58	2098	2140	2	3	2	3	3
アルミス	4774	R3	J/V9.6	625.0	1.0200	11	55	11	2111	2153	3	4	3	6	6
セレスティーヌ	3173	R3	SEAM 31II	625.0	1.0200	11	57	19	2239	2284	4	6	4	10	15

会員艇の紹介

「パンディーナ」グループ

パンディーナは蒲郡ヨットハーバー廃止を機会にラグナマリーナに移動、暑いヨットを避けて快適なマリンサロンで取材させていただきました。

まずは最近の活動を確認しますと、毎月最終木曜日に浜松でミーティング、翌月の活動予定を確認決定しているそうです。5月は佐久島、安乗へ、6月は湾内クルージングだったそうです。

現在のメンバーは6名、代表の八木氏(70)、そして野口、北尾、大石、荒井、高部の各氏、スズキヨット部が母体のメンバーで平均年齢65歳になってしまいました。

1971年米中、日中国交正常化の時期、パンダブームにあやかってパンディーナと命名した渡辺 22.5を西浦知柄漁港に係留、その後さむらい 24、エクメ 26、パサトーレ 28 ファースト 30 となり、係留地も西浦から白谷、蒲郡、ラグーナと移動しました



快適なマリンサロンで取材



パンディーナサロンでの談笑

世のさむらい 24 ではレースに活躍、まぐろ 4 人、残る 2 人ではリーフできず頑張りとうしたパールレースで S クラス 3 位が最高位、紀伊勝浦鯉島回りレースに優勝、東海支部年間クラス優勝もしました。

世のエクメもレースには活躍しましたが M C C レースでの活躍は・・・思い出せません。この頃から会社人間にならざるを得ない世代に入りました。

スズキでの仕事から海外にも知人がありヨット情報も入ります、その知識情報から直輸入を計画、知人の勧めたフランス、ベネトウ社からファースト 30 を、当時は円高でタイミングも良く 1200 万円が 800 万円程度で済みました。

直輸入は清水、進水は御津、言葉の壁もありマストの取り付け方法を間違えてレース中にマスト折損、空輸で調達したことなど大変なことも沢山あったがよき思い出です。

最近ではレースに参加する元気は無くもっぱら湾内クルージングを楽しんでいます。海で見かけたら手を振ってください。よろしく。



ラグナマリーナの賑わい